

令和3年 会頭新年挨拶

令和3年1月7日

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては新たな気持ちで、新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より木更津商工会議所の事業運営に格別なるご支援、ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

1月7日に開催を予定しておりました優良会員企業表彰式及び新年賀詞交歓会については、with コロナの中で感染拡大防止と経済活動を両立させていくことが重要と考え、しっかりと感染防止対策を行って開催しようと準備をしまいましたが、年末に入り感染拡大が急増し、それに伴う市主催行事の中止決定や千葉県からの「不要不急の外出自粛要請」等を踏まえ、やむなく開催を中止することといたしました。優良会員企業表彰を受賞される事業所並びにお申込みいただいた方々には大変申し訳ございませんが、事情をご賢察のうえ、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

振り返りますと、昨年は年明けから新型コロナウイルスの感染が始まり、緊急事態宣言の発出、その後の第2波、第3波と感染拡大による日常生活・経済活動への影響は今まで経験したことのないほど大きなもので、国難というべき一年でありました。さらに、今年に入って2度目の緊急事態宣言と、一層困難な状況に至っております。あらためて、新型コロナウイルスの感染拡大により、ご不安な日常生活や事業経営を余儀なくされている皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

この国難というべき未曾有の危機に対して、国・県・市は数次の補正予算を組み、感染拡大防止対策と経済活動の両立に向け、特別定額給付金をはじめ、持続化給付金、GoToキャンペーンなどさまざまな支援策を講じております。

当所も商工会議所としての存在意義が問われる時と、いち早く「新型コロナウイルスに関する経営相談窓口」を開設し、資金繰りや補助金申請等の支援を行うとともに、急遽「コロナに負けるな！がんばろう木更津プロジェクト」を立ち上げ、売り上げ激減の事業所を支援するための「無料情報掲示板」の開設、デリバリー・テイクアウトのお店を紹介するチラシの全戸配布、「新型コロナ対策推進宣言」ポスター及びステッカーの配布などを実施しました。しかしながら、予防ワクチンや特效薬がない中での感染防止対策と経済活動の両立はなかなか難しく、経済回復には至っておりません。

新型コロナウイルスは、ビジネスのあり方から働き方まで企業経営の姿を大きく変えました。その変化の多くは常態化していくと思われ、その対応が急がれています。経営者の方々は、すでに多くの試みを日々実践されておられると思いますが、この変化に対応し、再構築したビジネススタイルを更に磨き上げることが重要と考えます。

国はデジタル庁の創設などデジタル化の推進を最優先施策として取り組もうとしております。あわせて中小企業の生産性の向上が議論されております。また、今後も台風など自然災害、疫病は必ずあります。その観点からもデジタル化を推進し、生産性を上げ、企業を強くしていかなければと思います。国も多くの支援策を用意しています。このため、商工会議所は会員事業所のIT化、デジタル化の推進をしっかりと支援してまいります。

after コロナの時代は大きな危機であると同時に、大きな変革に挑戦するチャンスでもあります。今年は皆さま方と一緒にコロナに打ち克ち、あらためて、「新しい時代に向けてチャレンジ（変革に挑戦）する年」にしたいと思っております。

今話題の映画『鬼滅の刃 無限列車編』の中の煉獄杏寿郎の母のセリフ、「弱き人を助けることは強く生まれた者の責務です。責任を持って果たさなければならぬ使命なのです」という言葉が心を打ちます。

商工会議所はもちろん強くありませんが、コロナ禍で困っている事業所を助けるのは責務であり、使命と思っております。役職員一丸となって、事業所支援に全力で取り組んでまいりますので、ご支援のほどよろしく願いいたします。

今年は待望の予防ワクチンの接種が始まり、夏には東京オリンピック・パラリンピックの開催も予定されています。また、地域では、新型コロナウイルスの影響により遅れていた鳥居崎公園をはじめとしたパークベイプロジェクトの工事等が始まり、夏にはポルシェの体験施設もオープンの予定と伺っております。

私たちは、バブル崩壊、リーマンショック、東日本大震災など、幾度となく災禍や経済危機を経験し、それを乗り越えてきました。自信を持って未来を見つめ、コロナ後の変化に対応した新しいビジネスモデルの構築に向けた「変革への挑戦」を期待し、さらに、一日も早い新型コロナウイルスの感染拡大の終息を願い、年頭のご挨拶といたします。